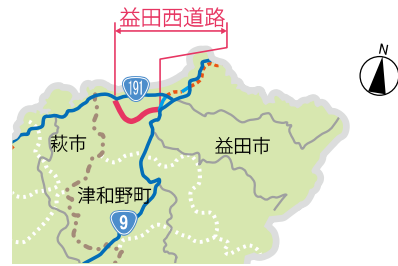


一般国道191号 益田西道路



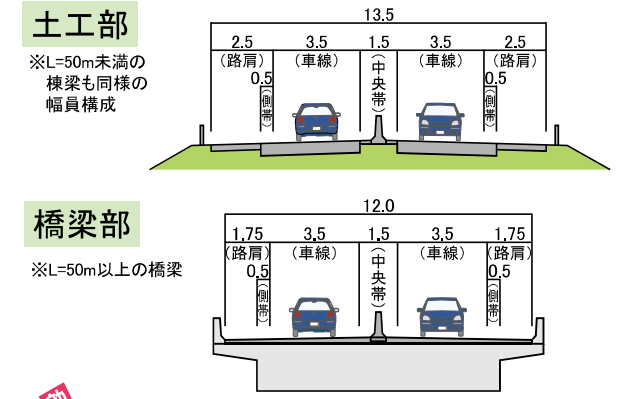
事業 の 目 的

国道191号は益田市から萩市を結ぶ唯一の幹線道路となっています。しかし、この区間は死傷事故率が高い箇所が複数あり、また代替路がないため、交通事故や自然災害などで道路が寸断された際は、大幅に迂回しなければならないなど、地域経済や住民生活に多大な支障をきたしています。

「益田西道路」は、国道191号の代替路を確保し、主要な産業拠点や救急医療施設へのアクセス性を向上させることで、住民生活や救急医療活動、地域活性化を支援することを目的としています。



標準横断面図(単位:m)



整備効果

- 災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの確保**
国道191号で通行止めが発生した場合、益田西道路が代替路となり、住民生活や企業活動に必要な道路ネットワークを確保します。
- 地域産業の活性化**
石見臨空ファクトリーパークや国営農地への到達性の高い道路ネットワークの形成による**時間短縮**が図られ、企業進出、事業拡大、販路拡大等による、**地域の産業振興**が期待されます。
- 救急医療施設への速達性・確実性の向上**
益田西道路の整備により、萩市から益田市への第二次救急医療施設へのアクセスが改善します。
搬送時間の短縮及び、定時性の確保により、住民生活の安心感の向上が期待されます。



課題 1 災害に対し脆弱な国道191号

国道191号は東西を結ぶ唯一の幹線道路ですが、近隣に代替路となる幹線道路がなく、通行止め時には大幅な迂回が必要となります。

【昭和47年水害の氾濫区域】

浸水区間L=約1,000m

(資料:「昭和四十七年七月豪雨災害誌」(建設省中国地方建設局))

課題 2 地域産業

島根県内の開通済みの高速道路IC周辺では着実に企業進出が進んでいます。未開通区間についても公表された開通にあわせて企業進出が進んでいます。更なる企業進出や民間投資の拡大には高速道路ネットワークの形成が必要です。

【新規進出企業*の高速道路ICまでの距離】

距離	立地件数(件)
0km ~ 5km	67
5km ~ 10km	10
10km ~ 20km	14
20km ~ 30km	8
30km ~ 40km	5
40km ~ 50km	0

※島根県における立地計画認定企業を対象(資料:島根県企業立地課調べ(H19~R2.3))

課題 3 救急医療の空白地

萩市旧須佐町、旧田万川町では益田市の第二次救急医療施設への年間250件以上の広域搬送を余儀なくされています。萩市には第二次医療施設へ30分以内で到着できない圏域が存在しています。

【第二次救急医療機関への搬送ルートおよび搬送件数】

萩市から益田市の高次医療施設への搬送件数 269件/年*

※H30年度国道191号経由救急搬送実績